



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越 🔍



カーフェリー「こがね丸」(直江津港にて撮影): 江口修一さん

## 「たより」No.298 目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告…	1
」ネットの活動とお知らせ ……	2
東京サロン・勉強会開催報告	
同窓会/校友会 ……	3
上越総合技術高等学校同窓会	
高田北城高等学校同窓会 東京支部	
高田高等学校校友会 東京支部	
上越の話題…	4
「斜めの家」とはなにか 中野一敏	
直江津「斜めの家」宿泊体験記	
祖父江ひろみ	
俳句ひろば…	5
会員ひろば…	6
懐かしい「市営球場」 小坂庸雄	
雪國商店 新潟市に進出! 内田隼	
上越タイムス・上越ケーブルビジョンへのアクセス方法のご案内…	7
瀧川鯉橋師匠 高座予定…	7
上越產品のお知らせ	
上越市からのお知らせ…	8
ふるさと応援室開催イベント報告	
ふるさと納税ポータルサイトのご案内	
」ネットからのお知らせとお願い…	8

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は579名(令和6年7月20日現在)

(2) 「ふるさと市場」の販売取次状況 令和6年6月 68点 150,701円 ※前年同月 42点 93,540円

### ◆ 6月13日(木)湯島にてサロン開催

3か月ぶりにサロンに参加しました。コロナ禍中の令和2年に理事・運営委員を辞し、集ってのサロン再開後の参加は年6回以下ですから、お会いするメンバーの顔ぶれもコロナ禍前とだいぶ変わっています。久しぶりの旧知の会員への挨拶は、「お久しぶり、お元気ですか」。一方、事務局テーブル上の名札で、亡くなったり退会した会員名を見ると妙に切なくなってしまう。この日の参加者は22人、いつもどおりふるさと上越の酒や唐揚げ・サンドイッチ・おにぎり等々食べ物も沢山。新しい方々とはコップ片手に、現役中のお話や近況、ふるさとの出身地・思い出話を聞いたりとなかなか楽しい。

九十九里海岸に面した千葉県大網白里市に住んでいて電車時間の関係上、後片づけの手伝いもせず心苦しいと感じながら少々早めに帰宅しています。

(藤沢勝一郎 記)



6/13 ご参加のみなさん

参加は22名。藤沢さんは、Jネット設立当初より理事、勉強会責任者としてご活躍。各イベントにご尽力いただきました。遠くからいつもありがとうございます。いつもお待ちしております。差し入れは、松本さんから日本酒シュルリーと梅酒、祖父江副会長より生ハムやサラダ有り難うございました。

(事務局)

### ◆ 7月11日(木)湯島にてサロン開催

3ヶ月ぶりにサロンに参加。サロンの前に、勉強会「虎に翼」/明治大学を見学してからサロンへ向かった。なおこの見学は有意義であった。

サロンは大勢で賑わい、気の利いたオードブルや、ワインも揃えられ、初参加の皆さんの自己紹介の後は、上越の話題に花が咲いた。定年後は、外との繋がりが少なくなりがちだが、気軽に参加し、ふるさとの話も出来るのは、有難いことだ。

また、湯島でお会いすることを楽しみにしています。

(笹川博 記)



7/11 ご参加のみなさん

今回は明大見学から参加された方も多く、総勢35名。6名の方が初参加(金子さん、塚田さん、中村さん、細谷さん、山口さん、渡辺さん)。差し入れは次のとおり、有り難うございます。茄子の漬物/新山さん、枝豆/野田さん・浜野さん、大杉屋羊羹/松本さん、浦川原の日本酒山豊(やんぼう)と間豊(まあぼう)/平山さん、ワイン/小坂。

(事務局)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 参加費1,500円(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ 8月8日(木) ◆ 9月12日(木) 開催時間17:30~19:00

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」

〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL：03-3832-7619

お問い合わせやご参加は、事務局(宮里) Mail:k.miyazato@araipt.co.jp TEL:03-5244-5138 まで

### ◆ 第54回Jネット勉強会「虎に翼」の展示会等の観賞

今回の勉強会は7月11日(木)に、好評放映中の朝ドラ「虎に翼」の展示会等の観賞を実施、参加者は小坂会長以下21名でした。三淵嘉子や女性たちが戦前・戦後の法曹界に進出した苦難の歴史の展示、阿久悠記念館を明大博物館で観賞しました。いずれも一見の価値ある展示です。勉強会は参加者からも喜ばれました。

今回の企画は勉強会をサロンと同日に開催し、勉強会のあとサロンに参加していただくことを念頭に置きました。この企画に応じて、勉強会のあと、サロンに4名の方が初めて出席されたことは企画者冥利につきました。

(溝口良二 記)



明治大学博物館アカデミーコモン入口で

### ◆ 上越総合技術高等学校同窓会

#### ◇ R6年度本部総会・懇親会

創立記念日にあたる5月10日(金)18:30～、上越市西城町3丁目のデュオ・セレッソで総会と懇親会を開催しました。



#### ◇ R6年度関東支部総会・懇親会

5月25日(土)から1泊2日で静岡県熱海市のホテルで開催しました。

初日は17:30～支部総会と懇親会、2日目は、小田原市の一夜城をボランティアの案内と説明により見学、次いで小田原城内を見学しました。  
(関東支部支部長 藤沢勝一郎 記)



会員2人が軍議に参加

### ◆ 高田北城高等学校同窓会 東京支部総会を開催

令和6年度の標記総会は6月2日(日)、アルカディア市ヶ谷で開催されました。本校から4名、東京新潟県人会から1名の来賓をお迎えして、総勢43名が出席しました。

ゲストとして出席の同窓生、マリンバ奏者の京谷ひとみ様、ピアニストの牧瀬愛結様の素晴らしい演奏がありました。また出席者の方から楽しいお話やお歌、元応援団の女性のエールなどもあり、終始和やかな雰囲気で行われ無事終了しました。

来年はより多くの方に出席頂くことを願っています。

(東京支部会長 長谷川瓊子 記)



### ◆ 第60回高田高等学校校友会東京支部総会・懇親会

6月21日(金)に高田高等学校東京支部総会・懇親会が、アルカディア市ヶ谷で開催されました。母校は150周年、支部は60回の記念大会となりました。昨年はコロナ禍の影響もあり、参加者数を制限して開催されましたが、今年は飛び入り参加も容認されたこともあり、総勢361名の校友が親交を深めました。地元能鷹の鏡割りに始まり、招待恩師の挨拶や、壇上での野球部OBの愉快的パフォーマンス、豪華賞品があたる抽選会などで大いに盛り上がりました。丸ナスやかまぼこ、タケノコ汁は毎回大人気のふるさとの味です。半年前からこの集いのために尽力されてきた執行部の努力は特筆に値します。(祖父江ひろみ 記)



## ◆「斜めの家」とはなにか

ナナメの会代表/建築家/一級建築士 中野一敏  
(naname023@gmail.com)

斜めの家にて渡邊洋治

上越市に「斜めの家」（1976年竣工）と呼ばれる貴重な建物があり保存活用に取り組んでいます。「斜めの家」を設計したのは、直江津出身の建築家渡邊洋治（1923-1983）です。今、『〈50年の歴史が今年で消えるかも…〉新宿にある奇抜すぎるデザインの「軍艦マンション」が迎える危機』というFRIDAY デジタルの記事がネットで見れます。この「軍艦マンション」（1970年竣工）は、渡邊洋治の代表作です。建物が50年を超えて愛され、その最後が 대중向けの記事になるのが渡邊洋治らしいところです。渡邊洋治は、迫力ある造形、力強い図面、非常識な行動などから、異端の建築家、狂気の建築家などと呼ばれ、キャラ立ちした建築家でした。

洋治は、直江津の大工の家系に生まれました。洋治の祖父は、直江津駅前の旧いかや旅館八角塔を建てた棟梁でした。洋治は、高田商工学校（現・上越総合技術高校）を卒業後、日本ステンレス直江津工場に就職します。そこで建築家西田勇と出会い薫陶を受けます。その西田は後に上越地域振興局庁舎、城北中学校旧校舎、上越総合技術高校校舎等、上越地域で数多くの建物を設計しています。洋治は、家系から受け継いだ才能と、最高の指導者に恵まれ、当時の上越地域に生み出された建築家だと言えます。洋治は、日本ステンレス勤務中に2年程太平洋戦争に従軍します。この体験が洋治の人生観・世界観に大きな影響を与え、「軍艦マンション」等、後の作品には、兵器のモチーフがたびたび現れます。

24歳の頃、飛躍を夢見て日本ステンレスを辞し、東京の久米建築事務所（現・(株)久米設計）に入所します。8年の在籍中、早くから才能を発揮して数多くの作品を担当します。「航空母艦」と呼ばれた直江津の旧労災病院は当時の作品です。その後、早稲田大学吉阪隆正助教授（当時）の助手を3年勤め、ヴェネチア・ビエンナーレ日本館等の設計に従事します。吉阪隆正は、20世紀を代表する建築家ル・コルビジェの元から帰国したばかりの頃でした。その後独立し、千代田区平河町に渡邊建築事務所を1958年開設。さらに早稲田大学講師となり23年間勤めました。渡邊洋治は、最高裁判所設計競技（2位）等目立った実績を残し海外でも評価され、ニューヨーク近代美術館の展覧会（Transformation in Modern Architecture）に「軍艦マンション」を出品しています。

「斜めの家」は、そんな渡邊洋治が残した最後の実作です。故郷との向き合い方を伝える貴重な作品でもあります。渡邊洋治は、近代建築の巨匠ル・コルビジェの孫弟子にあたり、彼を乗り越えることを強く意識していました。また、当時裏日本と呼ばれた地域出身であることを自己の建築創造の上で大切にしていました。私は、後に批判的地域主義と呼ばれる、近代建築の普遍性と地域の固有性の間の弁証法的プロセスを、「斜めの家」の設計に見出せるように思います。渡邊洋治は、ル・コルビジェがインドに設計した建物から着想を得て、そこに自身を育んだ故郷の環境を重ねて昇華させ「斜めの家」を生み出したのではないかと。詳しい資料も常備しております、宿泊体験などを通して、この貴重な建物の奥深い魅力をぜひ味わっていただけますと幸いです。

## ◆直江津「斜めの家」宿泊体験記

祖父江ひろみ

ふるさと直江津にこんな奇妙な建物があるということを知り、昨年初めて知りました。何より驚いたのは、建築家・渡邊洋治が、かつて直江津駅前に建つ洋風の瀟洒な「いかや旅館八角塔」を建てた大工の棟梁の孫だったことです。才能は受け継がれるものと感心しました。地元有志による「斜めの家」保存活用のためのクラウドファンディングで、全国151人から約237万円が寄せられ、民泊のための最低限の改修工事がなされました。私も協力者のひとりとして、この宿泊体験となりました。一棟貸し、定員4名。友人3人を誘って、一抹の不安と大いなる期待を胸に出掛けました。

実際、「斜めの家」を見たときは驚きました。たしかに建物全体が「斜め」に傾いている。そして、黒い金属の外壁に無数の窓がランダムに並んでいて、周辺の住宅地には全くそぐわないかつさに圧倒されました。



旧いかや旅館八角塔  
明治41年（1908）建築。設計施工 渡邊直吉

を開けて建物内に入りますと、目の前に緩いスロープの紅い絨毯が突き当たりまで延びて、そこから2階部分へ折り返しのスロープが続きます。階段無し、師匠のル・コルビュジェお得意の手法が踏襲されています。北側外壁の無数の窓から差し込む外光が紅い絨毯や壁クロスに反射して、とても美しく楽しい。壁のクロスの経年変色が少々残念でしたが。

出掛ける前、友人たちからは、「斜めの家？ 転がり落ちないように！」と心配されましたが、一階には納戸、洋間、台所、茶の間が、2階には和室、洋室の各部屋が、スロープに合わせてもちろん水平につくられています。各部屋の開口部は、障子戸、よしず戸、ガラス戸、雨戸の4枚の扉があり、すべて戸袋におさまります。大きな開口部からは初夏の明るい日差しが差し込み、庭の緑が美しい。雨戸に規則正しく開けられた小さな穴から外光が差し込んできて、思いがけないアイデアに感心しました。居住空間には遊び心が満載され、外観の「潜水艦」とは違った細やかで優しい工夫に満ちていました。

たまたま、月夜の晩でしたが、夜の「斜めの家」は、リズムカルに並んだ小窓から灯りがもれて、まるで宇宙船のようでした。実に楽しく有意義な宿泊体験でした。

2025年以降、一般民泊が始まります。ふるさとの「名建築」を守り継ぎたいものです。

渡邊洋治が「潜水艦を作る」と言った意気込みに納得した次第です。外壁は銅ぶきで、はじめは赤銅色に輝いていたのでしょうか。周囲の住人はさぞかし度肝をを抜かれたことでしょう。「ナナメの会」代表の中野さんの考察によりますと、「渡邊洋治の潜水艦は稲の生育とともに沈み込み、刈り入れと共にまた浮上する。冬には豪雪地帯ならではの雪にも浮き沈みする」というのです。なんとユニークな、そして地元ならではの発想でしょう。

さて、いかにも手作りのごつい玄関ドア



斜めの家外観

## 俳句ひろば

ふるさと 夏

夕さりの網の繕ひ浜白暑

山小屋に海を恋ふやに貝風鈴

馬の目に映る落日遠郭公

暮鳴けり郷の訛りのあるごとく

逃げ腰を追ふかに鼠火花かな

上野邦治

原爆忌天は一日もて足れり

金魚売雁木に入りて雁木塞ぐ

よろずや  
万屋がいまも一軒夕螢

故里に大やんま減り友が減り

踊娘を闇に攫ひし男かな

饒村楓石

◆ 懐かしい「市営球場」—プロレス、プロ野球観戦も—

小坂庸雄

今は「高田城址公園野球場」と名称が変わりましたが、私には「市営球場」が今でも使い続けたい呼び名です。

開場が私の生まれる数年前の1949年（昭和24年）、内外野にスタンドがあり、当時地方では立派な野球場だったのでしょうか。事実 '50年、'52年、'53年、'55年とほぼ毎年のようにプロ野球公式戦も行われています。その後は'81年まで公式戦は行われていません。

この球場及びその周辺は、私が大好きな場所です。陸上競技場、テニスコート、以前は屋外プール、そして相撲場までありました。小学校から高校までこの周辺に通っていたこともあり、懐かしいことに加えてここから見る妙高ほかの山々の景色は1年を通じ大好きです。

さてこの球場は、小学校時代に忘れられない思い出が幾つかありますが、一寸だけ紹介します。

まずは、'59年/S34年、小3の時のプロレス観戦。メインイベントは力道山組と外国人組。力道山と確か豊登だったかと、一方はミスターアトミックとジェス・オルテガ、こちらは鮮明に覚えています。小学校の同級生I・R嬢がアトミック・オルテガ組にリング上で花束を渡していました。最近知った話ですが、力道山組には彼女のお姉さんが渡したとのこと。試合内容はよく覚えていませんが、力道山組が勝った記憶があります。むしろ、もっと前の試合でミスター珍とかユセフ・トルコだったか、ふざけたプレーをしていたのが記憶にあります。なお、アトミックは覆面レスラーで、同じ覆面レスラーで人気のあったデストロイヤーの来日はそれから数年後です。

次は翌年'60年/S35年11月6日のプロ野球オープン戦巨人対国鉄戦です。この試合はシーズンが終わった後のオープン戦ですが、長嶋は入団3年目、王は入団2年目、この二人の記憶が全くありません、来ていなかったのかもしれませんが。何故か覚えているのは巨人のサイドスロー安原投手、彼は翌年から打者に転向しています。その後もその選手を応援していました。後年、仕事でお世話になった方が安原選手の友人だと聞いて奇遇だと思いました。

実はこの試合が非常に有名な出来事に絡んでいたことを知りました。当時巨人は水原監督、当日監督は不在でした。以下は川上貴光氏の著書「父の背番号は16だった」（朝日新聞）の一部からです。なお貴光氏は「打撃の神様」と言われた哲治氏の長男です。

昭和35年11月6日、新潟の高田市で父がスワローズとオープン戦を戦っていた頃、水原は京都である人物と会っていた。東映フライヤーズのオーナー、大川博だった。

結局水原監督はこの年で辞任し、翌年東映フライヤーズ監督になります。この11月6日は水原監督の行方が話題になった当日だった訳です。

なお、こんな話もつい先日高校同級で野球通のO・T君から聞きました。市営球場での最後の公式戦が'81年/S56年8月の南海対西武戦ですが、私は東京にいてプロ野球ニュースで見ましたが、O・T君はこの試合を球場で観戦したあと、仲町の雀荘で麻雀をしていたら、西武の根本監督らもそこで一緒になったとのこと。着ていたシャツに親切にサインしてくれたそうです。

今度は、2軍の試合があれば、ぜひ観戦してみたいものです。



高田城址公園野球場

◆ 「雪國商店」 新潟市に進出！

内田 隼 大潟町犀潟出身 五泉市在住

上越ケーブルビジョン（JCV）様が運営する「雪國商店」。新潟駅リニューアルに合わせて、2024年5月29日に新潟駅構内「CoCoLo新潟」内の2F EAST SIDEに新規オープンしました。東京・有楽町の「東京交通会館」内にも同様の店舗がありますが、CoCoLo新潟の雪國商店は一味違います。それは、角打ちコーナーがあることです。角打ちとは、升の角に口を付けて飲むことが由来です。店舗で地酒やおつまみを実際に楽しむことができます。気になった地酒やおつまみをその場で楽しみ、更に楽しみたければ、購入してお持ち帰り。このように、CoCoLo新潟の雪國商店は、地酒とおつまみをテーマにした店舗づくりをコンセプトにしています。私は、オープン2日後の5月31日の夜に伺いましたが、外国人のお客様を含め、必ず店舗にはお客様がいらっしゃいました。



五泉に引っ越して早半年。身近に感じられる上越が新潟駅にできたことに喜びを感じますし、地元・上越のことを五泉の人たちにも発信するチャンスになりました。五泉から1時間もあれば行ける場所なので、積極的に伺い、利用し、まだ私の知らない上越の魅力を更に発見して発信していきたいです。

## Jネット ホームページ

### ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧いただけます



## 上越タイムズ電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

### ◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。



## 瀧川鯉橋師匠 高座予定 鯉橋：090-4730-9032 rik\_yoh\_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

- ◇8/4(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第45回) 時 間：午後4時～5時半 木戸銭：1,500円  
出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの出演あり 会 場：喫茶「ひとやすみポン」(板橋区若木2丁目、環八沿い)  
お問合せ：080-5544-9241(オビ)
- ◇9/23(月・祝) グリーンホール八起寄席 時 間：午後2時～4時 木戸銭：2,000円(予約・1,700円)、  
65才以上1,500円(予約・1,200円)  
出 演：遊子、鯉橋、頼光、談之助(以上出演順) 会 場：グリーンホール相模女子大学(相模大野)  
お問合せ：042-749-2200(グリーンホール) 鯉橋拜
- その他の出演予定は、鯉橋師匠まで……(下記のブログよりも楽しいお話をご覧ください！)  
☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』 <https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194>

## 上越産品販売のお知らせ

### ● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。  
現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

### ● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

### ● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から徒歩約3分)

場 所：有楽町交通会館1階  
営業時間：11:00～19:00  
年中無休(年末年始は休業)

### ● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

日 時：8月24日(土)・25日(日)  
9月14日(土)・15日(日) 16日(月・祝)  
9月28日(土)・29日(日)  
会 場：有楽町交通会館1階 ピロティ  
時 間：11:30～17:30



雪国商店

新潟駅、「CoCoLo新潟」内の2F EAST SIDEに新規オープンに続き、7/31(水)  
JR大阪駅直結「KITTE大阪」「雪国商店大阪店」グランドオープン!  
「雪国商店」または右記のURLよりご覧ください。 <https://yukiguni.shop/>

◇上越妙高の美味しい物を取り揃え、皆様のお越しをお待ちしています。

「雪国商店」&「雪国マルシェ」お問合せ先 JCV東京情報センター TEL：03-5218-7730

## 上越市からののお知らせ

### ◆ 首都圏における活動拠点の整備について

この度、首都圏における魅力発信や、企業・団体等とのネットワークの強化を図るため、コワーキングスペース「WeWork丸の内北口」を利用できる環境を整備しました。

コワーキングスペースには、職員が常駐するわけではありませんが、ふるさと応援室等の職員が、出張ベースで首都圏における活動拠点の一つとして利用し、ふるさと納税の増加はもとより、企業等との連携や交流人口の拡大につながる取組を進めてまいります。

7月10日（水）には当該施設において、当市の魅力を発信するイベントを開催し、施設に入居している企業等を始め、官公庁や自治体、Jネット会員様に参加いただき、ふるさと納税の返礼品に登録されている自慢の逸品を試飲試食してもらうなど、交流を深めました。

今後も定期的にイベントを開催しますので、ぜひご参加ください。

総合政策課ふるさと応援室（TEL：025-520-5625）



### ◆ ふるさと上越への応援をお願いします

～下記のポータルサイトに、上越市のお礼の品を掲載しています。



ANAのふるさと納税

au PAY ふるさと納税

※ふるさとチョイスと一部返礼品の連携をしています。



地域から日本を元気に！  
楽天ふるさと納税



さとふる



SEASONのふるさと納税



ふるぽ  
ITBのふるさと納税サイト



ANAのふるさと納税  
マイルが貯まる



・左のQRコードからふるさと納税9ポータルサイトの情報をご覧いただけます。  
※紙カタログのご用意もあります。  
ふるさと応援室（TEL：025-520-5625）までお気軽にお問合せください。

## ●●●●●●●●●● Jネットからののお知らせとお願い ●●●●●●●●●●

### ◆ 2025年Jネットカレンダーの写真を募集しています。

定番の観光ポイント以外の写真も大歓迎です。奮ってご応募ください。カレンダーの表紙、1-2月、3-4月、5-6月、7-8月、9-10月、11-12月の各ページに掲載し、併せて、場所（行事）、撮影者名を記載HPトップ画面に1年間掲載させていただきます。

ご応募は、横型写真（横幅2800px以上推奨）とし、9月10日までをお願いします。

送付先：

Jネット事務局：k.miyazato@araipt.co.jp



◎次号「たより」は令和6年8月25日の発行です。

2024年7-8月カレンダー作品より  
柿崎区「田んぼにかかる二重橋」  
撮影：佐藤俊一さん